



しろさと

議会だより

No.86

2026年6月15日

(令和8年)



苗風の里

～苗とともに今年の希望を植える～

(旧七会村 塩子地区)

目次

予算・決算常任委員会報告……………	2
第1回定例会で決まったこと……………	4
第4・5回臨時会で決まったこと………	5
討 論……………	6
一般質問 町政を問う……………	8
傍聴者の声・編集後記……………	16



予算・決算常任委員会での主な **質疑・答弁**

第1回定例会初日の4月14日、町長から提案された令和8年度城里町予算（6会計）について詳細に審査するため、予算・決算常任委員会に付託し、審議されました。

委員会での主な質疑・答弁の主なものは次のとおりです。



一般会計

一般会計は、町税や地方交付税などの一般財源を主な収入源とし、福祉・教育・道路整備など住民生活に直結する基本的な行政サービスの歳入歳出を管理する会計

問 令和5年度に「健康増進施設ホロルの湯」にて入湯税の一部未納があったが、現在は問題無く納税されているか。

答 昨年度は、期日どおりに納税されていることを確認している。

問 ガソリンの暫定税率が廃止されたが、地方揮発油譲与税はどうか。

答 令和8年度の減収分は地方税措置される予定。次年度以降は、未定のため国の動きを注視する。

問 過疎対策事業債の実質的な町の負担はどの程度か。

答 過疎地域の事業に対して充当でき、償還金の70%が交付税措置されるので、30%が町の実質的な負担。

問 特定空家等解体撤去補助事業における特定空家とは、どういった空家か。

答 特別措置法に基づき町が認定した、倒壊や衛生上の問題など、周辺に著しい悪影響を及ぼす空家のこと。



▲予算・決算常任委員会1日目の様子

問 うぐいすの里用地購入事業について、購入の経緯と単価は。また、今後の利活用の方針は。

答 現在、うぐいすの里は一部借地になっており、返却のための現状復旧にかかる費用が多額のため、1㎡あたり約340円で用地を購入する。今後の利活用については未定。

問 路線バス待合環境快適化事業で新しく設置する待合所及び駐輪場は、どこを予定しているのか。

答 待合所と駐輪場を1ヶ所ずつ、詳細な場所は現時点では未定だが、国道123号線沿いを予定している。

問 2人に1人が「がん」、3人に1人が生活習慣病になると言われている時代。健診のネット予約は便利だが、ネットは全ての人が利用できるわけではないのではないか。

答 若者の利便性を考えてネット予約ができるが、電話での予約も受け付けている。町の受診率は県内でも高い。

問 近年イノシシの数が増えている。農作物への被害を防止する電気柵への補助金はあるか。

答 有害鳥獣防護柵設置補助事業として、購入費の3分の1（上限3万円）の補助がある。また、県より同額の補助があるので、合計6万円（上限）まで補助される。

問 スtockヤードが新しく決まっていなのに、現在の場所を公園にするのか。

答 早急に次の場所を決めてお示ししたい。

問 町営住宅子育て世帯向けリフォーム修繕事業は何戸を予定しているのか。

答 3戸を予定している。和室、浴室などを子育て世帯向けのリフォーム行う。

問 中学校部活動における、地域クラブ活動への移行状況は。

答 野球、サッカー、バスケットボール(男女)、ソフトテニス(男女)、剣道、吹奏楽は移行済み。



▲予算・決算常任委員会2日目の様子

国民健康保険特別会計

国民健康保険事業を運営するための特定の財源を、一般会計とは区別して管理する専用の会計

問 人間ドッグ・脳ドッグの助成実績は。また、助成対象数を増やすことはできないか。

答 令和7年度実績で219名。うち、婦人科検診92名、脳ドッグ18名。現在の予算額で希望者全員に対応できている。

問 子ども・子育て支援金制度は、国保加入世帯に負担になるのでは。

答 国保加入者以外の社会保険加入者等も同様に徴収するもので、国で決まった制度のため、周知に努めていく。

介護保険特別会計

介護保険制度を運営するための特定の財源を、一般会計とは区別して管理する専用の会計

問 介護サービスの自己負担は、どの程度の年収から3割負担になるのか。

答 年間の合計所得が220万円以上の方が3割負担の対象になる。

水道事業会計

地方公営企業法に基づき、水道事業が独立採算制で経営するための公営企業会計

問 直近の有収率(浄水場から送り出した総配水量のうち料金収入につながった割合)はどの程度か。

答 令和6年度実績で75.11%。

下水道事業会計

地方公営企業法に基づき、下水道事業が独立採算制で経営するための公営企業会計

問 下水道施設更新事業は本年度何カ所を予定しているのか。

答 スtockマネジメント計画に伴う管路調査を行い、その調査結果により決定する。

問 上入野地区農業集落排水を廃止し、公共下水道に統合したが、他の農業集落排水も統合する予定か。

答 段階的に公共下水道へ統合する予定。

令和8年度 予算の規模 (第1回定例会に提出された議案の予算規模)

区分	令和8年度	令和7年度	増減率	増減率(%)
一般会計	111億3800万円	132億8900万円	▲21億5100万円	▲16.2
特別会計	49億7323万円	51億906万円	▲1億3583万円	▲2.7
企業会計	33億2044万円	29億1373万円	4億670万円	14.0
計	194億3167万円	213億1180万円	▲18億8013万円	▲8.8

第1回 定例会

第1回定例会は、4月14日から24日の11日間で開催しました。

承認1件 条例改正1件 町道廃止1件
当初予算6件 人事案件1件 報告8件

一般会計予算を除き 承認・可決

承認第4号	令和8年専決処分第4号（城里町税条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて 軽自動車税環境性能割の廃止に伴う改正、その他所要の規定の整備を行うもの	承認
議案第31号	城里町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について マル福制度の所得判定において、令和7年度税制改正で特定親族特別控除が新設されたことに伴い、所要の改正を行うもの	可決
議案第32号	町道路線の廃止について 道路形状をなさない区域があることから、町道の一部を廃止するもの	可決
議案第33号	令和8年度城里町一般会計予算について 予算総額 11,138,000,000円	否決 討論あり P 6
議案第34号	令和8年度城里町国民健康保険特別会計予算について 予算総額（事業勘定） 2,011,769,000円 予算総額（施設勘定） 238,012,000円	可決
議案第35号	令和8年度城里町後期高齢者医療特別会計予算について 予算総額 346,489,000円	可決
議案第36号	令和8年度城里町介護保険特別会計予算について 予算総額（事業勘定） 2,370,111,000円 予算総額（介護サービス事業勘定） 6,850,000円	可決
議案第37号	令和8年度城里町水道事業会計予算について 予算総額 1,166,414,000円	可決
議案第38号	令和8年度城里町下水道事業会計予算について 予算総額 2,154,026,000円	可決
議案第39号	城里町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 山口 麻衣子 氏（石塚） 任期 令和8年4月23日から4年間	可決

傍聴者報告

	開催期間	傍聴者数
第1回定例会	令和8年4月14日～24日	46名
第4回臨時会	令和8年5月1日	8名
第5回臨時会	令和8年5月14日	7名

第4回 臨時会

第4回臨時会が、5月1日に開催されました。

第1回定例会で**否決**された 一般会計予算を一部修正して上程され、**否決**

議案第40号	令和8年度城里町一般会計予算について			討論ありP7 否決
	予算総額	11,113,388,000円		
	主な変更内容【減額】	うぐいすの里用地購入費 ▲25,704,000円		
		【増額】指定ごみ袋作製業務 1,092,000円(材質変更)		

第5回 臨時会

第5回臨時会が、5月14日に開催されました。

第4回臨時会で**否決**された 一般会計予算をさらに修正して上程され、**可決**

議案第41号	令和8年度城里町一般会計予算について			討論ありP7 可決
	予算総額	11,119,872,000円		
	主な変更内容【増額】	町道1024号線路線測量詳細設計業務 5,984,000円		
		建設残土処分場及びストックヤード調査費 500,000円		

賛否の分かれた議案等 (その他の議案等については全員賛成)

- …賛成 ×…反対
 棄…棄権 欠…欠席
 除…除斥 (自己の一身に関する事件は議事に参与できない)
 ※議長は採決に加わりません

	賛否数		阿久津	高萩	田口	篠田	綿引	加藤木	猿田	藤咲	三村	関	杉山	片岡
	賛成	反対	秀文	和彦	優子	かつ子	静男	直	正純	芙美子	孝信	誠一郎	清	藏之
令和8年度城里町一般会計予算 (議案第33号)	3	8	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	※
令和8年度城里町国民健康保険特別会計予算	10	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※
令和8年度城里町後期高齢者医療特別会計予算	10	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※
令和8年度城里町介護保険特別会計予算	10	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※
令和8年度城里町水道事業会計予算	10	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※
令和8年度城里町下水道事業会計予算	10	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※
令和8年度城里町一般会計予算 (議案第40号)	4	7	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	※
令和8年度城里町一般会計予算 (議案第41号)	8	3	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	※



討論とは…

採決の前に、議員が「賛成する理由」や「反対する理由」を述べるものです。

討論を通じて、議員は自らの考えを住民に示し、また他の議員の判断材料ともなります。

議案第33号 令和8年度一般会計予算について（第1回定例会）

反対 加藤木 直 議員

議案第33号に反対の立場で討論いたします。指定ごみ袋は「破れやすい・使いにくい」との声が長年続き、生活負担となっているにもかかわらず、執行部は現場での作業を理由に改善を怠っている。また、公費で制作した収益は環境施策へ充当すべきである。さらに補聴器補助は1万円と定額であり必要な方が進んで利用しようとする額ではない。実効性のある支援にすべく補助額を5万円程度へ引き上げ、聞こえを必要としている方へ支援すべきだ。本予算には賛成できない。

賛成 田口 優子 議員

黒澤止幾生家屋根シート掛替事業935千円の予算について最初は反対の意向だった。しかし、生家保存の建築がストップしている現状と多額の費用がかかる為、寄付金を集めている経緯。今回の予算には寄付金は含まれない。935千円はシートの掛替のみならず屋根の串補修、高所作業車等にも充てらる等。この苦肉の策を理解し地域の文化財を守るために賛成に切り替えた。今後、座談会等開き、保存方法のアイデアを集めてはどうか。

反対 藤咲 芙美子 議員

予算案は開発公社偏重で、町民の暮らし応援にはほど遠い。七会町民センターグラウンドの芝の処理やホールの湯の運営では種々のところで法令に抵触している。国からきている会計年度任用職員の手当は当人に支払うべきだ。水道の広域化推進の立場に立っているが、広域化には弊害の実例がある。広域化はやめて、地元の浄水場を残すべきと考える。補聴器購入時の補助の増額を求めたが、聞く耳を持たないようだ。

賛成 綿引 静男 議員

年度当初の一般会計予算を否決するということは、行政活動全体にストップをかけるということである。結果、3か月間の必要最低限の経費のみの暫定予算となり、公共事業の発注や補助金の交付決定ができなくなる。町民の暮らしを守る議員として、町民や企業に多大な迷惑をかけるような議決は断じて避けるべきだ。

反対 三村 孝信 議員

2日間にわたり予算委員会で質疑をつくしてきたが、執行部の説明不足を強く感じた。予算執行後の事業が確定していない案件もあり、是正を求めたい。

議会の使命は、予算編成の無駄を省き、効率的に予算が使われるよう、チェックすることだ。

よって、今回の当初予算には反対する。議員各位の賛同をお願いしたい。



議案第40号 令和8年度一般会計予算について(第4回臨時会)

反 対 加藤木 直 議員

本予算に反対の立場で討論する。補聴器購入補助事業は、利用率が必要としている方の約1.5%にとどまり、制度が十分機能しているとは言えない。補助額1万円では実態に見合わず、5万円程度への引き上げによる利用促進が必要だ。補聴器支援は孤立防止や認知症予防、介護費抑制につながるため将来への投資と考える。また、町道1024号線事業は、説明不足により地域の分断を招く懸念がある。対話と合意形成を優先すべきであり、現状での予算執行には賛成できない。

反 対 藤咲 芙美子 議員

修正案が出されたが、町長がいう「住民の福祉の向上に全力で傾注」するにはほど遠い内容だ。自己保身の専断行政が進められていることに変わりはない。住民の強い希望がある補聴器購入補助の増額どころか予算は減額されている。1025号線の道路改良工事については、住民の深刻な被害である火災を「今がチャンス」と言って相手と交渉するなどの手法は到底認められるものではない。地元住民との合意の上計画すべきである。

賛 成 田口 優子 議員

ゴミ袋の材質が変わることで、環境問題に影響はないか、有害物質は出ないか、出た場合の処理ができるのか質問した。材質は、高密度から低密度のポリエチレンに変わること、焼却温度も850度から1000度でダイオキシンの出にくい温度で燃やせる等の答弁を頂き納得した。

今回の新年度予算に関しては、物価高騰の対策としても早急に予算を通し、町民の為に諸々の工事等滞りなく実施することが必要と考え、賛成討論とする。

反 対 猿田 正純 議員

予算委員会で否決された後、町長が反対議員に対し、電話やメール、自宅訪問を行い、さらに政党本部にまで働きかけて賛成を促したことは、議員の判断に圧力をかける行為であり看過できない。予算は執行部が信念を持って上程すべきものであり、反対されたから「通るなら何でも修正する」という姿勢では、町民に対する説明責任を果たしているとは言えない。

また、残土処分場の不足により町内の公共工事や民間工事に支障が出ているにもかかわらず、十分な対策が取られていない。町政には改善すべき点が多く、丁寧な説明と公平な行政運営が必要であるため、本予算には反対する。

議案第41号 令和8年度一般会計予算について(第5回臨時会)

反 対 加藤木 直 議員

議案41号令和8年度城里町一般会計予算に反対の立場で討論をする。

補聴器購入補助がわずか1万円にとどまっている本予算に反対をする。補聴器は高額な物もあり、十分な補助がなければ必要な高齢者は購入できない。難聴は孤立や認知機能低下にもつながるものだ。補聴器は「社会とのつながり」を守るものであり、補助拡充は将来の介護・医療費抑制にもつながる未来への投資だ。「聞こえ」を諦めさせない町を目指し、本予算に反対をする。

反 対 藤咲 芙美子 議員

町の行政の使い方が開発公社に偏重したものになっている。町民センターのグラウンドの芝は産業廃棄物である。一般廃棄物しか処理できない環境センターに持ち込み処理することは条例上できない。ホロルの湯の運営や、ホーリーホックの使用料など法令に抵触している。会計年度任用職員の報酬・手当の増額について、国から通知とお金 coming。当事者に支払うべきだ。1025号線の道路拡幅工事は地元住民との合意の上計画すべきである。

一般質問

町政を問う

「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の寄稿によるものです。

今回7名が質問し、その要約を掲載しました。

藤 咲 芙美子 議員 …………… 9

1. 補聴器購入時補助について
2. 高齢者支援について
3. 国民健康保険の改善を
4. 広報紙について

高 萩 和 彦 議員 …………… 10

1. 町民の居場所づくりについて
2. 農家への経営支援について
3. 児童、生徒、学生の通学の負担軽減について

阿久津 秀 文 議員 …………… 11

1. 子育て支援体制の充実について
2. 小規模農家への支援について

篠 田 かつ子 議員 …………… 12

1. 高齢者の移動支援について
2. 認知症対策について

田 口 優 子 議員 …………… 13

1. 小中学校全般について
2. 城里町の教育大綱について

加藤木 直 議員 …………… 14

1. 水道事業全般について
2. 新規事業執行の在り方について

三 村 孝 信 議員 …………… 15

1. 労務管理について
2. 選挙投票率と投票所について

☐次ページからの、顔写真横のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、一般質問時の動画が視聴できます。



一般質問の内容を分かりやすくお伝えするため、以下のアイコンを使用しています。

問

議員の質問

答

執行部の答弁

意

議員の意見・要望

補聴器購入時補助について

問 城里町における2025年の後期高齢者は人口の約25%に達している。耳鼻咽喉科の医師も補聴器は早期の装着が必要だと言っているが有り得ない。必要としている多くの高齢者に一刻も早く利用していただきたい。待ち時間はない。

長寿応援課長

答 令和5年度～7年度まで76件の利用があった。5年を一区切りとしており、意見や要望を伺いながら検討していく。

意 補聴器は片方だけでも20～30万円するものもある。必要と思っても高価で求めることが出来ない方もいる。生き生きと暮らせるよう補助の増額を求める。

高齢者支援について

問 介護認定を受けていても、町民の納得のいくような支援が受けられていない。心身面や金銭面でも個人の負担が重くなっている。負担を下支えするような仕組みが必要だ。

長寿応援課長

答 家族の介護の手間が大変ということであれば担当のケアマネージャーに相談し介護の見直しを図ることをお勧めする。

問 認定調査で介護度によっておむつの現物支給がなくなると生活に負担がかかる。その人に合った支援が受けられるような提案をしていただきたい。

長寿応援課長

答 介護予防日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査によりサービスを検討していく。個別に対応していきたい。



藤咲 芙美子 議員



国民健康保険の改善を

問 国保の均等割りは生まれてすぐの赤ちゃんからかかるもの。18歳未満の均等割り軽減を行っていないのは5市町村しかない。その中に城里町が入っている。子育て支援の町と胸を張れるのか。早急に均等割りの軽減を求める。

国保年金課長

答 厚生労働省で均等割り保険料軽減措置の対象を令和9年4月1日から実施される見込みとなっている。

意 これまでも質問してきた。待てないから再度求めている。

広報紙について

問 町の広報紙はすべての世帯に情報を届ける義務がある。約2700世帯に配布されていない。公平性をもって全住民に伝えるべきだ。

総務課長

答 回覧の他町中で55ヶ所の公共施設に設置し、小中学校にも配布している。

高萩
たかはぎ

和彦
かずひこ

議員



こちらから
動画が視聴できます

町民の居場所づくりについて

問 町民の方から「近所に話し相手がいなくなった、集まる場所がなくなった。」との声をよく聞く。町民のコミュニティ形成や居場所づくりのため、本庁舎1階の町民ホールに休憩、雑談スペースを作れないか。飲食物を販売する自販機も設置するのが望ましい。生徒や学生の自習スペースにもなり、夏季にはクーリングシェルターとしての機能も果たすことができる。

総務課長

答 すでにイス、テーブルを複数設置済みであるが、今後も開放を進めたい。クーリングシェルターとしての活用も推進していく。

意 本庁舎が町民の利益になるよう、更なる有効活用がなされることを願う。



▲有効活用が期待される町民ホール



農家への経営支援について

問 農家の方々から「農業経営を総合的にサポートしてもらえる体制を作ってほしい。」との声をよく聞く。農業公社のような組織を作り、農地の貸借や機械の貸借を一括してサポートしてもらえないか。

農業政策課長

答 近隣の農業公社の状況や農家の意向を把握し、公社の必要性について検討を進めたい。

意 我が町に合った、我が町らしい制度設計をお願いしたい。



児童、生徒、学生の通学の負担軽減について

問 学校の統廃合や公共交通機関の減便により、通学に不便が生じている児童、生徒、学生がいると認識している。保護者に定期的なアンケートをとり、その都度、通学支援の政策に反映してはどうか。

教育長

答 現在実施している学校生活全般に対するアンケートに、通学に関する項目を設ける。各学校と連携しつつ、ニーズの把握に努めていく。

意 私としては①遠距離通学の中学生②公共交通機関の路線のない学校へ通学する高校生③減便により保護者送迎を余儀無くされている高校生への支援を特にお願したい。

子育て支援体制の充実について

問 本町は、子どもや子育て世帯を専門的に担う「こども」という名称を冠した課が設置されていない。近隣自治体をみても設置されており、行政の姿勢も見られるとともに手続きも分かりやすく容易である。この現状をどう認識しており近隣自治体をどのように評価しているか伺う。

総務課長

答 利便性の向上や町民にとって分かりやすい課の名称、また施策動向を踏まえて今後の組織の改編については検討していくと考えている。

問 単なる名称の問題ではなく、町として子どもを重視していく姿勢の明確化、住民にとっての分かりやすさの向上、組織としての方向性の共有といった点においても、大きな意味がある。今後どういう方向性で行動するか伺う。

町長

答 9月以降に「子育て応援課」を設立したいと思う。

意 早期の設置をお願いします。



阿久津 秀文 議員
あ ぐ つ ひ で ふ み

遊休農地維持の補助金について

問 遊休農地等の草刈りや耕しなどの維持が大変である。維持するための補助等について伺う。

農業政策課長

答 維持管理に関して、個人的に直接的な補助金は扱っていない。

問 今後、維持管理について検討していただけないか。

農業政策課長

答 個人的には無いが、地域の方々に農地の維持管理を行うための補助で、多目的機能支払交付金という事業がある。これを活用して農地等の維持管理に充てていただきたい。

問 老朽化した農業用水路等が増えているが、このような補修する支援はあるか伺う。

農業政策課長

答 農地や農業用水路の補修について相談や要望を受けた際に状況を確認しながら町で対応をおこなっている。また、こちらも多目的機能支払交付金の対象であるため活用していただきたい。

意 農家への周知を徹底していただきたい。

篠田 かつ子
議員



こちらから
動画が視聴できます

高齢者の移動支援について

問 町で行っている移動支援の種類は何か。

まちづくり戦略課長

答 支援サービスは3事業ほど。1つ目が、デマンド交通ふれいいタクシー事業。2つ目が、交通空白地有償運送しろさとスマイルタクシー「のってく」事業。3つ目が、福祉部局の福祉有償移送サービス事業である。

問 福祉タクシー「のってく」の稼働率は。

まちづくり戦略課長

答 令和6年10月から実証実験として始め、令和7年度は年間を通じて、稼働実数77日、運行回数が148回である。

問 「のってく」は予約のため乗れないこともあると聞いたが、移動支援制度の拡充、台数の拡充は考えているのか。

まちづくり戦略課長

答 年間242日ほぼフル稼働している状態で、予約が取れず乗れなかったということはない。行事が重なるという関係上、この日はお断りしたという実績は何件かある。現在の状況では増車は必要ないと認識している。

問 「のってく」は町外の病院に行く時に乗せてくれると聞いたが範囲は。受入病院数はどれくらいあるのか。

まちづくり戦略課長

答 町外24施設を指定。水戸市、笠間市、茨城町、常陸大宮市である。

問 それ以外の施設はだめなのか。

まちづくり戦略課長

答 国土交通省の認可を受けて実施をしている。24施設のみが許可されている。

問 城里町全域を走るA1オンデマンドバスの導入は可能なのか。

まちづくり戦略課長

答 公共交通の機能向上を目指し、他地域の先進事例を今後調査研究していく。

意 これからますます深刻となる高齢化社会に向けて従事者の負担軽減するために交通手段の制度拡充を求める。

認知症対策について

問 城里町の認知症、徘徊時の対策は。

長寿応援課長

答 状況に合わせて団体等に捜索協力し、早期発見に努めている。介護度により申請して徘徊探知機レンタルが可能。利用については担当ケアマネに相談が必要。

問 認知症サポーター養成講座について。

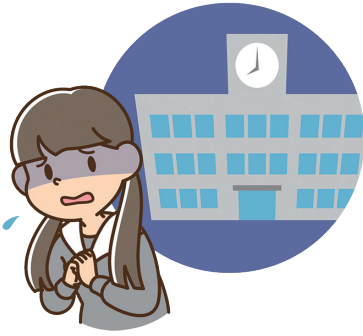
長寿応援課長

答 ステップアップ講座を受講し、見守りネットワークチーム、チームオレンジを形成し、見守りの協力をいただく取り組みを行っている。

意 徘徊時の捜索強化のためにGPS端末装置の普及拡大を求める。



▲しろさとスマイルタクシー「のってく」



不登校対策について

問 全国で不登校が12年連続過去最多の中、城里町の過去3年間の推移、校内フリースクールの利用状況と運営課題は。

教育委員会事務局長

答 不登校児童生徒数は令和4・5年度の40名から6年度32名へ減少。校内フリースクールは常北中・桂中に設置され居場所となっている。課題は複数学年混在による学習の妨げ、長期不登校生徒の学力低下・退学傾向、職員・空き教室不足など山積。

問 登校しぶり等実態の「見える化」をお願いしたい。

教育長

答 不登校・登校しぶり等4カテゴリーによる実態調査を実施し、6月に資料を提出する。

意 不登校は甘えではなく、保護者は孤独を感じている。大阪・大空小学校など「すべての子供の学習権を保障する」地域に開かれた学校がある。

問 3つの提案を行い、決意を伺う。

答 ①保護者懇談会の開催②教師・専門機関によるワーキンググループ設立③地域ボランティアとの連携強化。

教育長

答 青少年相談員、民生委員、児童委員の方々から何かできることがあればいつでも相談して欲しいと力強い声を頂いており、積極的に検討する。不登校対策は最重要課題の一つと捉え、適切かつ誠意ある支援を進めて参る。



田口 優子 議員



こちらから動画が視聴できます

城里町教育大綱について

問 現行の教育大綱が重要課題を十分に反映しておらず、町長と教育委員会の連携が不十分。住民の声を取り入れた大綱の見直しは可能か。

町長

答 可能である。保護者や地域住民の声を取り入れ、しっかりとした大綱づくりに取り組みたい。

意 つくば市や東京北区の先進事例を紹介。子供から高齢者まで多世代が参加する大綱づくりと、教育の地域座談会開催を提案。町民全体で教育を考える仕組みづくりを求める。

問 教育大綱についての認識は。

教育長

答 大綱策定には町長と教育委員会が総合教育会議で十分に協議・調整を尽くすことが重要であると認識する。

意 町のトップが強みを活かし合い、楽しくまちづくりができたなら、町民も一層強みを活かし町が活性化する。



北区教育・子ども大綱を紹介します



▲こちらから動画を視聴できます。

加藤 直 議員



こちらから
動画が視聴できます

水道事業全般について

問 水道事業は、住民生活を支える重要なインフラだ。3月の北方地区での漏水事故の原因について伺う。

上下水道課長

答 同所は9月にも漏水が発生し修繕した。今回近い場所で漏水が発生し復元漏水と言う現象と認識している。

問 新聞で見た。本町のAIを活用した漏水等の診断は有効なのか。スピードや正確性、経費について伺う。

上下水道課長

答 通常5年計画で数億円かかる。今回は、1年で2,000万円弱。リスクの高い場所の音調調査を実施し、13カ所の漏水を発見した。費用対効果は大きいと考えている。

問 漏水事故は、埼玉県八潮市のような陥没事故にもつながる。このような場合の危機管理や町民への周知について伺う。

上下水道課長

答 3月の漏水時は、休日で職員の参集に時間を要した。この反省を踏まえ、今後は、遅滞なく防災無線等を活用し周知できる対策を取ってまいりたい。

問 年間5億円をかけ水を送っている。有収率75%、1億2千万は捨てている計算になる。空き家が多く、敷地内の給水管からの漏水について伺う。

上下水道課長

答 今回のAIによる漏水調査で約半数は給水管だ。広域間議論の中でも多くの事業体は、敷地内メーターまで事業体管理とする方

向だ。

広域化を待たずに例規改正等を行い有収率の向上に対応したい。

問 災害時は、同時多発的な事故が予想できる。業者さんとの連携や危機管理について伺う。

上下水道課長

答 水道は、重要なインフラだ。十分な予算と人員を確保し体制強化に努めたい。

意 業者と災害時の協定をお願いしたい。



漏水現場の様子(北方地区)

建物建設の進め方について

桂小児童クラブ新築工事について

問 令和6年度予算で400万円の設計委託費を計上。その後、事業が進展しない理由を伺う。

健康福祉課長

答 桂小内建設予定地に一部民地がある。教育委員会と検討している。

問 建設場所に民地があるとは、初歩的なミスだ。すでに設計費用は使われている。やるのかやらないのか端的に執行責任者の見解を伺う。

町長

答 建設するつもりだ。

その他、ホロルの湯グラウンドゴルフ場のトイレ設置について質問がありました。

労務管理について

問 昨年度の退職者の中で若手・中堅の離職はあったのか。

総務課長

答 20代はなし。30代が4名、40代が1名となっている。

問 離職の主な理由は。

町長

答 残業等が多くなり、ワークライフバランスが崩れることが原因かと思う。

問 補足することはあるか。

総務課長

答 キャリアアップで新たな職場が決まっている者や、介護等家庭の事情がある。

問 6割の離職者が職場の人間関係を理由にあげている。メンタルヘルス等、組織としての対応は。

総務課長

答 庁内に産業医や保健師、人事担当で衛生委員会を設け、対応している。また、早期発見のため全職員を対象にストレスチェックを実施している。

問 新卒職員の採用においても人員確保が難しくなっているが対策は。

町長

答 常北校から城里町役場を第1志望とする生徒に受験してもらう等、若い人の採用を確保したい。



三村 孝信 議員
みむら たかのぶ



こちらから動画が視聴できます

選挙投票所と選挙公報について

問 投票所が遠くて選挙に行けないという高齢者の声を聞く。投票所の数と減らした理由は。

総務課長

答 合併時は31ヶ所で、平成19年に現在の13ヶ所になった。人口減少や経費削減が主な理由だ。

問 投票所減を補う施策は。

町長

答 車による移動投票所やスーパーマーケット内の投票所設置で対応している。

問 期日前投票で25%が投票している。選挙公報の発行を早くできないか。

総務課長

答 現行の公選法では、立候補受付終了後となるので、早めるのは無理だ。

問 配布方法は。

総務課長

答 新聞折込で対応している。

問 新聞を定期購読していない所帯が増えているのではないか。

総務課長

答 町のホームページでは告示後すぐに見られるので活用して欲しい。

～議会を見て、聴いて、感じて。傍聴者の声～

議会では、町民の皆さまに開かれた議会を目指し、傍聴の機会を提供しています。
傍聴された皆さまから寄せられたご意見の一部を、以下にご紹介いたします。

何が印象に残りましたか？

議員が自分で足を運び、声を聞く姿勢に感銘を受けました。

(50代女性／那珂西)

傍聴してどう感じましたか？

議員の真剣な対応に感心しました。

(70代男性／那珂西)



何が印象に残りましたか？

町職員のメンタルヘルス対応に不足を感じた。

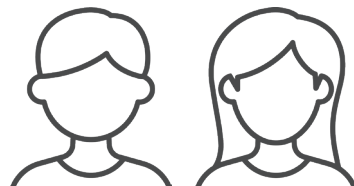
(70代男性／那珂西)

傍聴のきっかけは？

選挙後初めての定例会なので、新人議員の考えを聞きたい。

(70代男性／石塚)

傍聴席から
このような声を
いただきました



傍聴のきっかけは？

普段はYouTubeで視聴していますが、時間に余裕がある時は足を運びたいと思った。

(50代女性／御前山)

編集後記

招かれて町内の小中学校の入学式にうかがいます。新入生の緊張した面持ちが新鮮です。私の胸も高まります。

よく「壁にぶつかってもがんばってほしい」「私たちは応援する」という大人たちの声を聞きます。その通りです。学びは生きる基本です。自分自身を励まし、挫折しても最後までがんばることが成功の秘訣ではないでしょうか。がんばる力を育むこと。そこに力を注いでほしいと考えます。

今年3月の選挙で町議会のメンバーも再出発になりました。この新入生たちが新しい力を発揮できる環境を作っていくために力をつくすつもりです。よろしくお願いたします。
藤咲 芙美子 記

議会広報委員会

委員長	猿田 正純
副委員長	藤咲 芙美子
委員	篠田 かつ子
	田口 優子
	高萩 和彦
	阿久津 秀文

議会だよりは、城里町
議会ホームページから
もご覧いただけます。

